

令和5年8月17日

研究研修・調査報告書		会 派 名 民主クラブ	
		代 表 者 名 山田 光昭	
		無所属議員名	
研究研修・調査 議 員 名	山田 光昭		
研究研修・調査 日 程	令和5年7月20日 ～ 令和5年7月21日		
研究研修・調査 報 告	1	研究研修会開催地・調査先進地 福岡県福岡市博多区 リファレンス駅東ビル	
		研究研修・調査内容 財政基礎研修 Level① 世界一わかる自治体財政編	
	2	研究研修会開催地・調査先進地	
		研究研修・調査内容	
	3	研究研修会開催地・調査先進地	
		研究研修・調査内容	
	4	研究研修会開催地・調査先進地	
		研究研修・調査内容	
	5	研究研修会開催地・調査先進地	
		研究研修・調査内容	

研究研修・調査報告（所感、提言事項、課題等）

1

研究研修会開催地・調査先進地

福岡県福岡市博多区 リファレンス駅東ビル

研究研修・調査内容

財政基礎研修 Level① 世界一わかる自治体財政編

今般、財政基礎（歳入編および歳出編）の研究研修会に参加し、歳入編では、自治体財政の理解のポイントについて、歳出編では個々の事業と共に財政全体を見る重要性についての講義内容にて、自治体財政の「基礎の基礎」である仕組みの部分について、更に知識を深めることができる研修会であった。

1. 財政基礎（歳入編）のポイント

- ① 地方財政の歳入の内訳
- ② 地方税の区分について
 - ・ 普通税と目的税
 - ・ 法廷税と法定外税
- ③ 地方交付税と臨時財政対策債の制度について
- ④ 国庫支出金（補助金）の仕組みについて
- ⑤ 地方債の役割について

2. 財政基礎（歳出編）のポイント

- ① 歳出の分析について
 - ・ 目的別歳出と性質別歳出
- ② 財政状況資料集より目的別歳出の比較について
- ③ 財政状況資料集より性質別歳出の比較について

歳出の注意する点について

目的別歳出：

- ・ 各項目には建設費が含まれており、経費の大きさに事業規模を判断してはならない。

性質別歳出：

- ・ 一般会計における実質的な人件費は、人件費と物件費のセットで捉えること。
- ・ 繰出金と補助金等は公営事業や一部事務組合等への支出であり、一般会計との関係に注意すること。
- ・ 経常収支比率は、性質別歳出の費目ごとに示されており、各費目の占める割合に着目すること。

令和 5 年 8 月 17 日

研究研修・調査報告書		会 派 名	民主クラブ
		代 表 者 名	山田 光昭
		無所属議員名	
研究研修・調査 議 員 名		山田 光昭	
		松野 優也	
研究研修・調査 日 程	令和 5 年 7 月 25 日 ～ 令和 5 年 7 月 26 日		
研究研修・調査 報 告	1	研究研修会開催地・調査先進地 香川県三豊市高瀬町下勝間 2373-1 (三豊市役所)	
		研究研修・調査内容 三豊市の地域公共交通活性化	
	2	研究研修会開催地・調査先進地 高知県高知市本町 5-1-45	
		研究研修・調査内容 高知市こどもまちづくり基金事業	
	3	研究研修会開催地・調査先進地	
		研究研修・調査内容	
	4	研究研修会開催地・調査先進地	
		研究研修・調査内容	
	5	研究研修会開催地・調査先進地	
		研究研修・調査内容	

研究研修・調査報告（所感、提言事項、課題等）	
1	研究研修会開催地・調査先進地 香川県三豊市高瀬町下勝間 2373-1
	研究研修・調査内容 三豊市の地域公共交通活性化
今回の視察調査により、地域公共交通の大切さを改めて実感することができた。 『行きたいときに行きたいところへ行けるまち』を基本理念とし、繋(つなぐ)利(つかう)守(まもる)拓(ひらく)を基本方針に掲げ、幅広い関係者(市民・事業者・行政)が協力し分野横断的な施策に取り組んでおられ、その仕組みについてきめ細かく説明を受けることができたので、基礎力の向上に活かせる視察でした。 以下、要旨を報告します。 1.三豊市コミュニティバス ① 全 12 路線・車両台数 14 台・バス停 334 箇所・1 乗車 100 円。 ② 市内だけではなく、善通寺市・琴平町・まんのう町へと延伸している。 ③ 利用促進の取組みとして、乗り方講座・乗継券の発行・回数券販売・福祉タクシー利用券(65 歳以上の免許を所有していないまたは返納者)等を発行し利用促進につなげている。 ④ DX の推進～G TFS の活用～	

経路検索サービス、整備したデータを「オープンデータ化」し、各経路検索サービスで検索可能に。

バスロケーションシステムを導入、デジタルサイネージも活用することでスマホを使えない方、観光客等も安心して利用できている。

2. 乗合タクシー実証運行

① 週3日、事前予約制の無料乗合タクシーを実証運行中。

エリア限定で運用し、データ分析・可能性の検証を行なっている。

※各路線で異なるカラーが設定されているので利用者に優しく、各ルートにも公共施設・医療機関・商業施設・教育施設等が隣接されていることが公共交通には大事だと感じました。市外ルートも市民アンケートから生まれたルートであり、市民と共に歩いていくいい取り組みだと思いました。

今回学んだことが少しでも高砂市の公共交通の発展に繋がるよう、今後も調査・研究していきたいと思います。

研究研修・調査報告（所感、提言事項、課題等）

2

研究研修会開催地・調査先進地

高知県高知市本町 5-1-45

研究研修・調査内容

高知市こどもまちづくり基金事業

今回の視察調査により、「子ども」を中心としたまちづくりの活性化について学ぶことが出来た。子どもを中心とし、地域の人々を巻き込み、地域全体の活性化となり、将来のまちづくりを担う人材の育成にも繋がるので、高知市も「高知ミライくらぶ」「地域とともにある学校」を進めていくうえで、子ども達を中心となって活動できる事ができれば、地域と連携した郷土愛を育む活動にもなる取り組みだと思いました。今後の地域づくりに繋がる考え方を得た視察でした。

以下、要旨を報告します。

1. こうちこどもファンドの仕組み

子どもによるまちづくり提案・活動実証、こども審査員による助成決定

2. こうちこどもファンド制度の効果

① 子どもを中心としたまちづくりの活性化

② 将来の高知市のまちづくりを担う人材の育成

③ 子どもにやさしいまち高知市の実現

3. 応募資格・助成対象となる活動

① 市内に在住、または通学・通勤している 18 歳以下の子どもが 3 人以上

② サポートする 20 歳以上の大人が 2 人以上

③ 複数世帯(2 世帯以上)の子どもで構成

④ 住んでいる地域や学校の周りをもっと楽しく暮らしやすくする

4. 事前研修会・事前審査会

大人審査員…子ども達の意見出しをサポート(教育長・部長)

5. 公開審査会

こども審査員サポーター…話し合いなどで子ども達の生の声を引き出す

6. 活動事例

地域のお年寄りに防犯劇を披露、地域の方と協力した野菜栽培・収穫

学校を舞台とした防災イベントの実施など

7. 助成金額

1 事業あたり上限 20 万円

※こどもたちが「こんなまちにしたい!」とアイデアを出し、実行することで(こどもが育っている)(こどものチカラが地域のチカラに)大人や地域の意識が変わるので、今後の地域活性化のアイデアの一つとして考えていきたい。

令和 5 年 8 月 23 日

研究研修・調査報告書	会 派 名 民主クラブ	
	代 表 者 名 山田 光昭	
	無所属議員名	
研究研修・調査 議 員 名	松野 優也 _____ _____ _____	
研究研修・調査 日 程	令和 5 年 8 月 6 日 ~ 令和 5 年 8 月 7 日	
研究研修・調査 報 告	1	研究研修会開催地・調査先進地 東京都千代田区有楽町 1-12-1 リファレンス新有楽町ビル
		研究研修・調査内容 高齢化の進展・人口減少に対応した交通まちづくり
	2	研究研修会開催地・調査先進地 東京都千代田区有楽町 1-12-1 リファレンス新有楽町ビル
		研究研修・調査内容 地域公共交通活性化再生法の改正と地域公共交通計画
	3	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容
	4	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容
	5	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容

研究研修・調査報告（所感、提言事項、課題等）	
1	研究研修会開催地・調査先進地 東京都千代田区有楽町 1-12-1 リファレンス新有楽町ビル
	研究研修・調査内容 高齢化の進展・人口減少に対応した交通まちづくり
今回の研究研修で、高齢化が進展し人口が減少していく状況での交通まちづくりについて理解する事ができました。今後は移動手段としての価値だけでなく、地域資源と組み合わせることで「まちづくりの手段」として価値を見出す必要があり、日常も非日常も課題さえも地域資源として活用し、地域公共交通を作っていく必要があることを理解できました。 以下、要旨を報告します。 1. 地方都市と地域公共交通の現状 ① 地方都市の人口と高齢化の現状（人口そのものが減る事が問題） ② 人口の減少と拡散（緩やかに拡散した都市は人口減少が進んでも同じには戻らない） ③ 公共交通空白地域の拡大（地域特性に合わせて公共交通空白地域の設定） ④ 地域公共交通に求められる役割と価値（地域住民の移動手段の確保・人の交流の活性化・まちの賑わい創出や健康増進・コンパクトシティ＋ネットワークの実現） 2. 地域公共交通の選択肢と運行主体 ① 運行主体と道路運送法（高速バス・乗合タクシー・デマンド交通等、様々な運行形態） ② デマンド運行のパターン 迂回ルート型…利便性は向上するが、定時制が失われる。 地域お迎え型…地域内のみデマンド運行し、目的地へは定時運行。	

路線不定期型…需要に合わせた運行で空車を避ける事ができる。

区域運行型 …区域内ではタクシー同様の利便性を提供、相乗は減少する。

◎特筆事項

- ・ 移動に困っているのは高齢者だけではないので、地域特性に合わせた公共交通空白地域を設定する必要がある、実際に地域を歩いて確認する必要がある。
- また、運転のできない子ども・学生達が若いうちから公共交通に乗り慣れることで、公共交通の可能性が認識できる。
- ・ 利用者の目的に合わせた最適な情報量での利用案内を提供していくこと。
- ・ 地域公共交通を維持するために行政・事業者だけが考えるのではなく、利用者も含めた関係者で連携してく取組んでいく必要がある。

研究研修・調査報告（所感、提言事項、課題等）

2

研究研修会開催地・調査先進地

東京都千代田区有楽町 1-12-1 リファレンス新有楽町ビル

研究研修・調査内容

地域公共交通活性化再生法の改正と地域公共交通計画

今回の研究研修により、本年 10 月に改正される地域公共交通活性化再生法では、規制緩和の法制度から公共交通の維持(活性化・再生)へと転換されており、連携・協働・共創による再設計による地域公共交通計画の策定が努力義務となっています。有効な広域地域ネットワークを形成し、持続可能なまちづくりを進めて行かないといけない事が理解できました。

以下、要旨を報告します。

◎地域公共交通計画にむけて

- ① 規制緩和の法制度から公共交通の維持へ
- ② 地域の輸送資源を総動員し持続可能なサービスの提供
- ③ 公共交通ネットワーク形成と持続可能なサービスの提供
- ④ 地域に合わせた交通サービスの組み合わせ
- ⑤ まちづくりと連携する地域公共交通計画による地域貢献
- ⑥ 地域公共交通会議と法定協議会の活用

⑦ 公的負担の数値目標の設定・計画策定と補助要件の変更

⑧ 地域の状況に合わせた最適な再編手法の組み合わせ

⑨ 独占禁止法の適用除外と共同経営計画

⑩ 計画の課題と目標の整合

◎地域の仕組みづくり

① エリア一括協定運行事業

③ 交通 DX・GX(社会資本整備総合交付金)

○特筆事項

- ・ 他市を含む広域ネットワーク形成を構築し、持続可能な旅客運送サービスの提供を確保することで、まちづくりと連携する計画につながる。
- ・ 計画書は調査報告書ではない。
- ・ 検討することが計画にならないよう、自分たちで実施できる事業内容とする。
- ・ 関係性の再構築、役割の再確認を行い、新しい時代のぞ持続可能な公共交通にしていける必要がある。

令和 6 年 2 月 日

研究研修・調査報告書	会 派 名 民主クラブ	
	代 表 者 名 山田 光昭	
	無所属議員名	
研究研修・調査 議 員 名	山田 光昭 松野 優也	
研究研修・調査 日 程	令和 6 年 2 月 5 日 ~ 令和 6 年 2 月 7 日	
研究研修・調査 報 告	1	研究研修会開催地・調査先進地 和歌山県東牟婁郡太地町大字太地 3767-1 太地町役場
		研究研修・調査内容 自動運転レベル 2 による公共交通サービスについて
	2	研究研修会開催地・調査先進地 和歌山県海草郡紀美野町動木 287 紀美野町役場
		研究研修・調査内容 紀美野町パークゴルフ場について
	3	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容
	4	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容
	5	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容

研究研修・調査報告（所感、提言事項、課題等）

1	研究研修会開催地・調査先進地 和歌山県東牟婁郡太地町大字太地 3767-1 太地町役場
	研究研修・調査内容 自動運転レベル2による公共交通サービスについて

今回の行政視察で、高齢化が進展し人口が減少していく状況での新たな公共交通サービスの必要性について理解する事ができました。コミュニティバス（中型・小型）が通行できない地域は当市においても多数存在しており、今後は地区ごとの小さなコミュニティにおいてバス停までの移動手段を考えていき、地域ごとの特性に合った最善な公共交通が必要だと感じた。

以下、要旨を報告します。

① まちづくりビジョン（～全町公園化～）

まち全体を大きな公園と捉えて多世代が集える場をつくる。

② 高齢者の現状確認（職員がチームで高齢者宅を訪問し実態を調査）

年齢を重ねる毎に「この町に住んでよかった」と感じてもらえる町が目標。

③ 高齢者の外出支援（町の至る場所にトイレ・ベンチを設置）

外出した際の休憩用のトイレ・ベンチを設置し外出を促す。
地域の拠点を整備して人が集える場所に支援センターや社協を派遣して各種相談を聞き取る。見守り活動や福祉活動にもなる。

④ 自動実装運転に向けて（デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用）

電磁誘導線を通すルートは狹隘道路でバス停までが遠いエリア・高齢化率が高いエリアを中心に設定し、運転手補助員を会計年度職員で3名雇用。
狹隘道路を通行する為、小回りのいい5名乗りを使用している。

⑤ 自動運転サービスの実装概要（結果が高評価、早期の実装の要望）

車両を増備し運行便数を増やしたが運賃は無料とした。

⑥ 今後の展開（自動運転プラス地域の見守り）

レベル2で補助員が乗車しているので、昇降の介助や地域の見守りが可能。
位置情報のローケーションシステムが導入され、各拠点でも位置情報や接近情報

がわかる。

◎その他

- ・登校できていない児童が学校に通えるようになった。
- ・レベル2が人と人を繋いでいる。

研究研修・調査報告（所感、提言事項、課題等）	
2	研究研修会開催地・調査先進地 和歌山県海草郡紀美野町動木 287 紀美野町役場
	研究研修・調査内容 紀美野町パークゴルフ場について
今回の行政視察により、自然を生かし・自然の中での触れ合いが地域の活性化に繋がっていると感じることができました。『本州初のパークゴルフ場設置！』 高砂市においては市ノ池公園が設備的に似ている施設であり、更なる公園の活性化が期待でき、市外からの集客が見込めるのではないかと感じました。 以下、要旨を報告します。 ◎紀美野町パークゴルフ場について ●管理・運営体制 ・職員 8 名(会計年度職員)・公園清掃→地域住民グループに委託 ・芝生管理→近隣民間ゴルフ場に委託【39,000m²】 ① 施設の導入経緯 H12 年に開園(第 1 期整備→利用者の増加で H14 に第 2 期整備で増設) ② 利用者数について コロナ前までは年間 25,000 人～30,000 人→コロナで利用者が減少したが昨年からは戻ってきている。 ③ 予算化と財政運営について	

令和4年度 63,420 千円・一般会計繰入 33,348 千円(遊具修繕に 2,650 千円)

④ パークゴルフの魅力・効果

「3世代が一緒に楽しめるスポーツ」であり、健康増進にも一躍担っている。
コミュニケーション志向に重きを置いたスポーツで、「子供から高齢者まで誰もが楽しめるスポーツ空間の創造」となっている。

⑤ 事業成果及び今後の課題について

近隣市町に同様の施設が出来たので利用者が分散し減少はある。
老朽化に伴う維持修繕・人件費、委託費の増加→今後は民間委託を模索して考え。

⑥ アクセス方法

自家用車が多く乗り合わせで来場。団体が利用する時はバスの乗り入れもある。

⑦ 施設の紹介

東西・南北コースに東屋(トイレ・自販機有り)、南北コースには大型休憩所も設置。

◎その他

- ・近隣市町にない状況においては、他市からの利用が見込める。

令和6年1月29日

研究研修・調査報告書	会 派 名 民主クラブ	
	代 表 者 名 山田 光昭	
	無所属議員名	
研究研修・調査 議 員 名	松野 優也 _____ _____ _____	
研究研修・調査 日 程	令和6年1月10日 ~ 令和6年1月11日	
研究研修・調査 報 告	1	研究研修会開催地・調査先進地 滋賀県大津市唐崎 2-13-1 全国市町村国際文化研究所
		研究研修・調査内容 自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に～
	2	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容
	3	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容
	4	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容
	5	研究研修会開催地・調査先進地
		研究研修・調査内容

研究研修・調査報告（所感、提言事項、課題等）	
1	研究研修会開催地・調査先進地 滋賀県大津市唐崎 2-13-1 全国市町村国際文化研究所
	研究研修・調査内容 自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に～
今回の研究研修により、地方自治体の財政運営について、地方財政の現状と自治体財政健全化について、議員の役割についても学ぶことができました。 また、演習で実際の数字を計算して評価についても考えることができました。 以下、要項を報告します。 ◎地方自治体の財政運営と議員の役割 1.自治体の環境変化と地方財政 ①自治体の財政運営における議員の役割 ②財政分析指標の意義と考え方 ③自治体財政健全化法と予算審議 2.自治体財政健全化法の意義 3.自治体財政健全化法における議会の対応 4.財政健全化における自治体経営 5.予算質疑と財政規律・自治体財政健全化法 ◎今後の健全な行財政運営に向けて 地方行財政の「見える化」と経営改革 ◎自治体財政指標の見方 ◎今後目指すべき地方財政の姿と地方財政への対応等について 今回の研修で学んだことを今後の市政運営に活かしたいと思います。	